

網走厚生病院小児科における「北海道オホーツク地域における小児の種々の病原体に対する抗体保有率調査」という題名の研究に参加された方へ

当院では下記の臨床研究をしております。これは「既存の生体資料や問診情報を用いた観察研究」で、新たな採血などの検査や投薬がないという研究ですが、国の定める倫理指針によって、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

【研究課題】

「北海道オホーツク地域における小児の種々の病原体に対する抗体保有率調査」

【研究責任者】

網走厚生病院小児科 梶野浩樹

【研究期間】

2025年7月18日～2030年3月31日

【対象となる方】

当院小児科を受診し、採血が施行された患者さん

【研究の目的】

研究の目的は、オホーツク地域における小児の年代別の種々の病原体に対する抗体保有率とそのワクチン歴や生活環境を検討し、地域の小児に対して感染予防策を提言することです。先行研究として当地域の小児におけるトキソプラズマに対する抗体保有率を検討し、その率の高さが判明したことによって感染予防の注意喚起の強化に繋げることができました。つまり、小児の年代別の種々の病原体に対する抗体保有率を調査することは、有効な感染予防策を講じるための第一歩なのです。

【研究の方法】

対象の患者さんは、当院の小児科外来を受診し、原疾患に対して採血検査が必要となった方。この研究の内容を説明し、承諾を得られた場合、生活環境の問診を行うとともに検査科に残る血清を測定業者に提出、その結果から抗体保有率を求め、生活習慣とあわせて評価します。患者さんに新たなご負担はありません。なお、この研究は当院の倫理委員会で承認されています。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報は、外部に漏えいすることのないよう慎重に取り扱う必要があります。得られた情報はパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。残血清は測定後に廃棄されます。研究結果は個人が特定出来ない形式で学会等の場で発表されます。

この研究に関する費用は網走厚生病院の研究研修費から支出されています。本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。本研究は、研究の実施や報告の際に都合のよい成績となるよう意図的に導いたりすることはありません。なお、協力をいただいた方への謝

金はありません。

研究に参加されなくても不利益は生じません。この研究のために情報を使用してほしくない場合、あるいはご不明な点がありましたら 2025 年 10 月 31 日までにご連絡ください。連絡をいただかなかった場合、ご了承くださいましたものとさせていただきます。

問い合わせ先：

網走厚生病院小児科 梶野浩樹

住所 093-0076 北海道網走市北 6 条西 1 丁目 9 番地

電話 0152-43-3157

FAX 0152-43-6586